

tomica  
LIMITED VINTAGE  
NEO1/64  
SCALEボンネット開閉可能！  
マツダRX-8後期型に新色登場！LV-N314d マツダ RX-8 TypeRS  
(グレー) 2011年式LV-N314e マツダ RX-8 スピリットR  
(白) 2012年式

※写真は試作品です。実際の製品仕様とは異なる場合があります。

1/64スケールダイキャスト製ミニカー(塗装組立済)  
オープンパッケージ ※2種共

- パッケージサイズ:  
W100mm×H115mm×D46mm、かぶせ箱(2種共)
- 原産地:中国
- 重量:約110g
- 著作権元商品化許諾申請済

## ●ここが見どころ●

- ①RX-8 後期型に新展開
- ②ボンネットが開閉、エンジンルーム再現
- ③エンジンカバーも別パーツ化

RX-7の生産終了で一時的に途絶えていたロータリーエンジンの歴史は、2003年に登場したRX-8から再開。4ドア、4人乗りながらマツダが考えるスポーツカー像を体現するためには、コンパクトなロータリーエンジンは欠かせないものでした。マツダの歴代スポーツカーのイメージを残しつつ21世紀にふさわしい進化を遂げたRX-8は、2008年に内外装を大きく変更したのち2012年まで生産され、現時点で最後のロータリー・スポーツカーとして知られています。

→写真左はエンジンカバー装着状態、右は外した状態です。

TLV-NEOでは、2024年8月にRX-8の後期型を新金型で製品化したしました。ボンネットを開閉可能とし、さらにエンジンカバーを脱着式とすることで、エンジンルーム内を見ることが出来ます。今回は、当時のトップグレードだったType RSのグレーメタリックと、最終限定モデルだったスピリットRの白を展開。ホイールの色やヘッドライト内部の塗装など、グレード間の違いもお楽しみください。

【文責:トミーテック】



TLVで迎える日本車の歴史